

高齢者の生活支援は

まずは地域包括支援センターへ相談を

問 介護が必要になった時の窓口は。

答 地域包括支援センターにて、保健師、社会福祉士、主任介護専門員などの専門職がチームとなって高齢者や家族の困りごとの相談や支援を行っている。

問 コロナ禍後の介護予防の取組は。

答 訪問型サービスや通所型サービス、各種介護予防教室などを実施し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの実現に努めている。



美部 恵美 議員



耕作放棄地の発生防止、効率的な農地利用の促進と担い手不足解消のためにも農業の魅力発信を。

※畦畔除去とは、水田や畑を区分けするアゼを除去し圃場を拡大すること

農地の畦畔除去を実施

問 畦畔除去の実施状況は。

答 募集期間が年度途中であったため、7件の実施に。今後も農地の集積・集約化を図り、農業の生産基盤を維持するために事業を継続。



みんなで楽しく! コロバンド

下水道区域の見直しは

区域を含めた計画の見直しを行う

問 人口減少を見据えた上での下水道整備区域縮小の考えは。

答 現在、整備を行っている事業計画区域の未整備区域においては、計画通り下水道整備を進めていく。

事業計画区域以外については、アフシヨンプラン策定の10年後にあたる令和8年度頃に、アフシヨンプランの見直しと合わせて、下水道整備区域の縮小を含めた下水道全体計画の見直しを行う。

最適な下水道事業の推進に向けて、取り組んでいきたい。



岡 俊範 議員



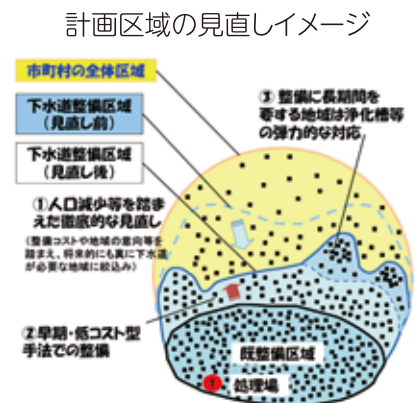
財政の長期シミュレーションを駆使し、持続可能な安定経営を目指した事業運営に努めるよう、希望し期待する。

問 「コストキャップ型下水道」などの手法を採用し、コスト削減の考えは。

答 本町においても、低コスト技術を取り入れ、管渠整備費用の削減に取り組んでいる。今後も様々な先進事例を取り入れながら、下水道整備や維持管理に掛かる費用の更なる低コスト化を目指す。

更なる低コスト化を目指す

コスト削減の努力は



国土交通省資料より